

知的財産法Ⅰ 特許法

知的財産法Ⅱ 著作権法

駒田泰士 = 潮海久雄 = 山根崇邦

I 2014年12月発売/236頁/本体1800円+税
 II 2016年4月発売/252頁/本体1800円+税
 A5判/並製



編集担当者から 有斐閣ストゥディアシリーズに、知的財産法の特許法（Ⅰ）と著作権法（Ⅱ）がそろいました。特許法も著作権法も近年、法改正が続く、条文そのものが複雑化しています。本書はできる限り初学者の視点に立って、法学部生に最低限習得してほしい制度趣旨・法解釈を丁寧に解説するよう心がけました。また同時に、生起する様々な法的問題に対応するため研究者・実務家が日々悩みながら活発に議論を交わしているという、「知的財産法の面白さ」も、読者に伝えたいと願いました。それは、一般的なテキストには書かれていないようなColumn、あるいはQuestionで表しています。コンパクトに詰め込んだ「基本+展開」を、ぜひご賞味下さい。（S×K）



Point!



アップデート情報やQuestionの解説などは、ウェブサポートにて順次掲載していきます。

〔特許法目次〕

- 第1章 特許制度の概要
 - 特許法とはどのような法律か
- 第2章 発 明
 - 特許法という発明とはどのようなものか
- 第3章 特許要件
 - 特許要件とは何か
- 第4章 権利の主体
 - 特許権をもつ者は誰か
- 第5章 特許出願・異議申立て・審判・審決等取消訴訟
 - 特許権を取得するための手続
- 第6章 特許権の効力
 - 特許権を取得すると何ができるか
- 第7章 特許権の侵害
 - 特許権の効力が及ぶ技術の範囲
- 第8章 特許権侵害の救済
 - 特許権侵害に対し何を求めることができるか

〔著作権法目次〕

- 第1章 著作権制度の概要
 - 著作権法とはどのような法律か
- 第2章 著作物
 - 著作権法の“要石”
- 第3章 権利の主体
 - いつ、誰に、権利が発生し、帰属するか
- 第4章 著作権の効力と活用
 - 著作権で何ができるか
- 第5章 著作権の制限と消滅事由
 - 他人の著作物の利用が許される場合は
- 第6章 著作者人格権
 - 著作者の人格的利益とは
- 第7章 著作隣接権
 - 著作物を公衆に伝達する者の権利
- 第8章 著作権の侵害とその救済
 - 著作権侵害に対して何を求めることができるか